



今日の担当
佐渡の旅 ためのね
カーフェリーに乗って
シャバシャバする波を
みるのがすき

2025年9月発行
無断転載・転売は固くお断りいたします。
発行人：佐渡汽船(株)

よしも新聞とは？
佐渡汽船の社員が実際に訪れて、皆さまにおすすめしたい佐渡の魅力を1枚にまとめた手書き新聞です！

ふりがえり 編 Vol. 1

こんにちは！佐渡は東京23区よしも広いよ新聞、通称『よしも新聞』編集長の近嵐です。「港に置いている新聞は誰が書いているの!？」と
思っていたみなさまのギモンにお答えし、自分たちの今までの活動を振り返る意味も込めて、まとめる特別版を発行することにしました。
これからも、ゆるく長く続けることを目標に書いていきます。
応援よろしくお願いいたします！



おすすめ ニッ鰐のフォトスポット看板

よく聞かれること

どんな人が書いているの？

主に、佐渡汽船に在籍する女性社員が中心。
字も絵も決して上手いとはいえないが、小学生のときから友達向けに自主的に手書き新聞を書いていた編集長のほかにも、メンバーが変わりながらも、それぞれの個性を活かして佐渡の魅力を伝えるべく取り組んでいます。

よしも新聞ができたきっかけは？



よしも新聞に話を戻すと

2017年に女性社員4人チームの活動PRの活動の一環として生まれました(編集長の先輩社員にあたります)JR九州東京支社さんの「鉄聞」に強い感銘を受けたと聞いています。鉄聞、ぜひ読んでみてください。
印刷方法やカテゴリー分けなど、試行錯誤しながら、早8年。船旅を楽しむみなさまに愛される存在になってほしいと願っています。

最近のこと

いつもありがとうございます

2025年6月、新潟港で開催した「放る佐渡フェスティバル」でお話したお客様から「手書き新聞 読んでるよ〜!」と聞かせていただきました。みなさまのお声は、とてもとても力になります。
佐渡島では、トットとお湯で有名な「御宿おぎの湯」さんがバックナンバーをファインディングしてくれています!! うれしいです。
湯上がりにはぜひご覧ください。
ちなみに、佐渡汽船ホームページにPDFでバックナンバー公開もします。
保存OKです!!

いっしょにつくろう!

2024年は佐渡の羽茂高校3年生と一緒に郷土芸能にくわくなる号に発行しました。とても学びの多い新聞になりました。今後も佐渡の学生さんや観光に携わる方などとコラボしたい! 興味がある人は、佐渡汽船営業部へ! 情熱、大事です。よしも新聞きっかけに、佐渡汽船への入社を考えてくれる人が来てくれたらいいな、なんて!

